

第221回 教育研究評議会 要録

日時 令和5年6月21日(水) 13時00分～15時03分
場所 遠隔会議：第一会議室、各研究室等
出席者 榊理事長、今岡学長、榎本理事、藤原副学長、久保副学長、西村副学長、黒子副学長、
中山文学部長、山内理学部長、中山生活環境学部長、藤田工学部長、
渡邊人間文化総合科学研究科長、鈴木広光評議員、吉田容子評議員、酒井評議員、柳沢評議員、
鈴木則子評議員、松本評議員、吉田哲也評議員、高田評議員
欠席者 遊佐副学長、衣川評議員
列席者 三野監事、三谷監事、林総務課長、望月企画課長、川村人事課長、幸田財務課長、
奥施設課長、岡田情報課長/学術情報課長、濱田国際課長、植田研究協力課長、
米谷学務課長、桑原学生生活課長、早川入試課長、岩阪監査室長
議長 今岡学長

議事に先立ち、前回の記録について確認。

I 審議事項

1. 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業への申請について

久保副学長から、資料1により説明があり、審議の結果、以下の意見等を踏まえ、申請するかどうかの判断を最終的に執行部に一任することとして承認した。

高田評議員から、申請するのであれば、海外の大学との交流実績をベースにした、国際的ネットワーク化についての記載が必要である旨の意見があった。

鈴木広光評議員から、ジェンダーを中心とした研究を軸とするにあたって、今後の人事計画にも影響してくるため、10年後のジェンダー関連の研究の見通しを検討しておく必要がある旨の意見があった。

吉田哲也評議員から、地域貢献はある特定の企業等へのサポート・サービスの提供の側面があり、それが果たして研究大学に繋がるのかとの意見があった。

人間文化総合科学研究科長から、全学的に進めていく方法もあるが、特定の分野で先鋭化して他大学と競い合っていくという考え方もある旨の意見があった。

鈴木則子評議員から、ジェンダーに関する研究の10年後の成長戦略を考える際に、衰退していくとは考えにくく、本学は実績もあり、今後様々な研究分野でジェンダーの視点を入れ得るという意味で幅のある研究分野である旨の意見があった。

吉田容子評議員から、本事業は明確な研究成果を求められる事になるので、全学的にこれまでのジェンダーに関する研究をベースに進めていく見せ方ではなく、ある程度分野を絞って深掘りした方が良いのではないかと意見があった。

柳沢評議員から、この事業は研究大学強化が目的であり、申請のためには本学の強みとして打ち出せる先端的な研究を見出すことが最重要と考えるので、執行部の方で教員評価システム等から情報を収集し、教員と研究分野の目星をつけた上で面談も行うといったプロセスが必要ではないかと意見があった。

柳沢評議員から、大阪公立大学との共同連携を行った場合、他大学との共同連携は制度上可能かとの質問があり、久保副学長から、制度上は問題ないが教員のキャパシティの問題がある旨の回答があった。この回答に対して、柳沢評議員から、地域中核を目指すのであれば奈良県内の大学との共同連携が有益ではないかと意見があった。

2. 諸規程等の制定等について

(1) 給与支給日の変更に伴う奈良国立大学機構職員給与規程等の一部改正について

人事課長から、資料2により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、役員会に付議することとした。

(2) 奈良女子大学福栄鋼材奨学金取扱規程の一部改正について

学生生活課長から、資料3により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、本日付けで施行し、令和5年4月1日付けで適用することとした。

3. 意欲的な評価指標の再申請について

藤原副学長から、資料4により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認し、役員会に付議することとした。

4. 「特別研究員－PD等の雇用制度導入機関」に係る登録について

久保副学長から、資料5－1～5－2により説明があり、審議の結果、原案のとおり承認した。

5. その他

榎本理事から、資料6により、奈良教育大学教育研究評議会と奈良女子大学教育研究評議会の構成員による合同情報共有会の試行的実施について説明があり、審議の結果、奈良教育大学の教育研究評議会でも承認を得た上で、実施することを承認した。

II 報告事項

1. 第25回役員会について

学長から、資料7により報告があった。

2. 国大協通常総会について

榎本理事から、資料8により報告があった。

3. 令和5年度国立大学改革・研究基盤強化推進補助金（国立大学経営改革促進事業）の申請について

榎本理事から、資料9により報告があった。

4. 両大学における連携の取組状況について

榎本理事から、資料10により報告があった。

5. 奈良女子大学における電子ジャーナルの契約状況について

榎本理事から、資料11により報告があった。

6. 教員採用に係る履歴書標準様式について

人事課長から、資料12により報告があった。

7. その他

学長から、奈良女子大学の教員養成のグランドデザインについて、部局長宛に意見照会を発出しているので、各部局において検討頂きたい旨の要請があった。

人事課長から、奈良県の最低賃金の変更の可能性があるが、結果次第ではアルバイトの時給の変更が生じる旨の報告があった。

情報課長から、本学で発生した情報セキュリティインシデントについて報告があった。

理事長から、文化勲章受章記念講演会/祝賀会の開催に対するお礼の言葉があった。

以上